

令和2年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」欄
 5：期待を上回って実施している
 4：十分に実施している
 3：実施している
 2：十分には実施していない
 1：実施していない

点検項目（指摘等の内容）	改善内容	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項等
基準1 教育の内部質保証システム				
観点1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。				
自己点検・評価の実施に際して、学校の構成員及び学外関係者から意見を聴取しているものの、それらの結果をどのように自己点検・評価に反映することとしているかが明確とはいえない。	学校の構成員及び学外関係者からの意見聴取結果を、自己点検・評価に反映するプロセスを規則として明確に定めた。	自己点検・評価委員会 (総務課)	2	規則に基づいて意見聴取結果への対応方針について検討する。
観点1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか				
前回の機関別認証評価で指摘された改善を要する点のうち、「教育の目的に照らして、準学士課程の教育課程が体系的に編成されていることに關して、学生に解りにくい点がある。」に対して、その改善が十分に図られていない。	Webシラバスにおいて、カリキュラムマップを公開した。なお、一部の科目（モデルコアカリキュラムと関連の無い科目）がカリキュラムマップに表示されない仕様のため、全ての科目を表示できるように、対応をシステム拠点校に依頼した。	教務委員会 (教務係)	2	Webシラバスに全ての科目が表示される仕様となるよう、システム拠点校と引き続き調整を行う。
観点1-2-③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。				
準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）において、入学者選抜の基本方針の明示に、一部不十分な点がある。	ホームページにおいて、編入学生のアドミッション・ポリシーを公表し、学内外に向けて明示した。	教務委員会 (教務係)	4	
基準2 教育組織及び教員・教育支援者等				
観点2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。				
教員に対して、教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等を行う取組が十分とはいえない。	令和3年3月23日に教員業績評価規則を制定した。	企画会議 (総務課)	2	新たに制定した評価制度に基づいて教員の評価を行い、その結果を給与等に反映する。
観点2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。				
FDとして実施されている取組が教育の質の向上や授業の改善につながっていることを学校として分析・評価する取組は十分とはいえない。	授業評価の結果を集計し、その結果を活用する仕組みについて検討した。	FD・SD推進委員会 (教務委員会・教務係)	2	授業評価の結果を集計し、その結果を活用する仕組みを確立する。
基準3 学習環境及び学生支援等				
観点3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。				
教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し、改善するための体制の整備が十分とはいえない。	厚生補導委員会と学生会との、対面やMicrosoft Teamsでの意見交換の場を整備した。	施設マネジメント委員会 (学生：厚生補導委員会 寮生：学寮委員会 全体：施設係)	2	学生面談を実施し、各学科および委員会でのPDCAサイクルを確立する。
観点3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。				
学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し、改善するための体制の整備が十分とはいえない。	対面やMicrosoft Formsによる意見収集の在り方について検討した。	メディアセンター委員会 (学生：教務係 教職員：総務・企画係)	2	Microsoft Formsによる意見収集を実行する。
観点3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。				
【口頭指摘事項】 特別な支援が必要と考えられる学生の学習支援及び生活支援等について、対応する組織の体制が規定等で明文化されていない。	学生支援等に関わる組織を包括した「学生支援センター」の設置を規則で定め、学級担任等からの情報を基に、必要となる学習環境の調整や生活支援計画の策定するなど、総合的な対応を行う体制を整備した。	学生支援センター (学生係)	3	
基準5 準学士課程の教育課程・教育方法				
観点5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。				
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目を体系的に配置していることが明確とはいえない。	Webシラバスにおいて、カリキュラムマップを公開した。一部の科目（モデルコアカリキュラムと関連の無い科目）がカリキュラムマップに表示されない仕様のため、全ての科目を表示できるように、対応をシステム拠点校に依頼した。	教務委員会 (教務係)	2	Webシラバスに全ての科目が表示される仕様となるよう、システム拠点校と引き続き調整を行う。
観点5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。				
教員及び学生のシラバスの活用状況を組織的に把握し、その把握した状況を基に改善を行う体制が整備されていない。	教員用「授業点検シート」と学生用「授業アンケート」を利用してシラバスの活用状況等を分析し、改善を進めることとした。	教務委員会 (教務係)	3	

令和2年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」欄
 5：期待を上回って実施している
 4：十分に実施している
 3：実施している
 2：十分には実施していない
 1：実施していない

点検項目（指摘等の内容）	改善内容	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項等
観点5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。				
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づいた単位認定に関する基準を定めた規則等が整備されていない。	規則改正を行い、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づいた単位認定に関する基準を明記した。	教務委員会 （教務係）	4	
成績評価や単位認定の基準に関する学生の認知状況を学校として把握する取組は、十分とはいえない。	成績評価や単位認定の基準を掲載した「学生便覧」を学生に配付したうえで、学生に対し、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握することとした。	教務委員会 （教務係）	3	
成績評価の客観性・厳格性を担保するための組織的な措置として、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックに関する取組は、十分とはいえない。	「授業点検シート」様式を作成のうえ、授業科目ごとに各教員から提出させることとし、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックを行い、問題がないことを確認することとした。	教務委員会 （教務係）	3	
一部の授業科目において、成績評価資料が適切に保管されていない。	成績提出期ごとに成績評価資料を提出するよう、各教員に依頼・周知した。また、各教員からの提出状況について、教務委員会でチェックする体制とした。	教務委員会 （教務係）	3	
一部の授業科目において、シラバスどおりの成績評価が行われていない。	統一の「成績算出シート」様式を作成し、当該様式に基づき成績根拠を示すこととした。また、科目を抽出して教員が相互にチェックを行ったうえで成績を提出する体制を構築した。 学修単位科目では、評価方法が教員毎にまちまちになっているなどの現状の問題を分析し、学修単位科目における自学自習について、シラバス上の「授業の進め方と授業内容・方法」及び「評価割合」欄に自学自習を課すこと及びその評価方法・割合を明記し、「授業点検シート」による報告で確認することとした。	教務委員会 （教務係）	3	
観点5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。				
卒業認定基準について、学生の認知状況を学校として把握・確認する取組は十分とはいえない。	卒業認定の基準を掲載した「学生便覧」を学生に配付したうえで、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握することとした。	教務委員会 （教務係）	3	
基準7 準学士課程の学習・教育の成果				
観点7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。				
【口頭指摘事項】 卒業時の学生及び卒業生に対する「達成度アンケート」等において、文章作成、口頭発表等が身につけていないとする回答が多く、特に英語などによるコミュニケーション能力に関して、否定的な回答が多くなっている。	達成度アンケートの内容を分析し、授業の改善を進めることとした。	教務委員会 （教務係）	2	国語、英語等の授業内容を改善する。
基準8 専攻科課程の教育活動の状況				
観点8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。				
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目を体系的に配置していることが明確とはいえない。	Webシラバスにおいてカリキュラムマップを公開する予定である。なお、一部の科目（モデルコアカリキュラムと関連の無い科目）がカリキュラムマップに表示されない仕様のため、全ての科目を表示できるように、対応をシステム拠点校に依頼した。	専攻科委員会 （教務係）	2	Webシラバスの一部科目が表示されない仕様の対応について、引き続きシステム拠点校と調整を行う。

令和2年度 自己点検・評価表

自己点検・評価項目：令和元年度の機関別認証評価において、改善の指摘等があった事項

「自己評価」欄
 5：期待を上回って実施している
 4：十分に実施している
 3：実施している
 2：十分には実施していない
 1：実施していない

点検項目（指摘等の内容）	改善内容	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項等
観点8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。				
成績評価や単位認定の基準に関する学生の認知状況を学校として把握する取組は、十分とはいえない。	成績評価や単位認定の基準を掲載した「学生便覧」を配付したうえで、学生に対し、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握することとした。	専攻科委員会 （教務係）	3	
成績評価の客観性・厳格性を担保するための組織的な措置として、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックに関する取組は、十分とはいえない。	「授業点検シート」様式を作成のうえ、授業科目ごとに各教員から提出させることとし、成績評価の事後チェック、複数年次にわたり同一の試験問題が繰り返し出題されていないことのチェック、試験問題のレベルが適切であることのチェックを行い、問題がないことを確認することとした。	専攻科委員会 （教務係）	3	
一部の授業科目において、成績評価資料が適切に保管されていない。	成績提出期ごとに成績評価資料を提出するよう、各教員に依頼・周知した。	専攻科委員会 （教務係）	2	各教員からの成績評価資料の提出状況を点検し、確実な提出を求める。
一部の授業科目において、シラバスに成績評価基準が示されていない。	シラバスに成績評価基準を明示するよう、教員への周知を徹底した。	専攻科委員会 （教務係）	3	
観点8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。				
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組及びその結果を入学者選抜の改善に役立てる取組が十分とはいえない。	入学者選抜において、本校のアドミッションポリシーに合致しているかどうかを確認するため、志望理由書の記載内容について見直しを行い、入試において評価する体制とした。	専攻科委員会 （教務係）	4	
観点8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。				
修了認定基準について、学生の認知状況を学校として把握・確認する取組は十分とはいえない。	修了認定の基準を掲載した「学生便覧」を学生に配付したうえで、毎年度初めに「成績評価、修了に必要な要件等に関する認識調査」を実施し、理解状況を把握することとした。	専攻科委員会 （教務係）	3	
選択的評価事項A 研究活動の状況				
観点A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。				
研究活動に関する目的、基本方針、目標等を学校として明確に定めているとはいえない。	「和歌山工業高等専門学校の研究活動に関する目的、基本方針及び目標」を制定し、広報誌を活用して学内外に周知した。	地域共同テ/センター （総務・企画係）	4	
選択的評価事項A 研究活動の状況				
観点B-1-① 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。				
地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を学校として明確に定めているとはいえない。	「和歌山工業高等専門学校の地域貢献活動に関する目的、基本方針及び目標」を制定し、広報誌を活用して学内外に周知した。	地域共同テ/センター （総務・企画係）	4	